



## 期待できる効果

細胞壁の強化

収量アップ

病害ストレスの軽減

## ▼ 含有成分量

カルシウム (Ca)	10%
二酸化ケイ素 (SiO <sub>2</sub> )	22%

## 特長

- ・他の成分と結合しやすいケイ素、カルシウムを特許技術マイクロカプセル化によって保護、圧倒的な吸収率で、効率的な施用が可能。
- ・ケイ素、カルシウムが細胞壁を強化して、外からの病害ストレスを軽減し、作物の日持ちを高める。
- ・細胞壁の強化により、植物体の倒伏を防ぎ、光合成を高め、収量をアップ。

## ポイント解説

細胞壁、気孔の孔辺細胞にはケイ素、カルシウムが含まれており、大切な働きをしています。通常のケイ酸カルシウム（ケイカル）は難溶性です。施肥しても、吸収が悪く肥効が現れるまで何年もかかります。また、溶解しても他のイオンと結合して吸収量が減ってしまいます。

## 施用量

※あくまで、目安となります。作物によって、多少の違いがあります。

細胞壁の強化	500~800 mL/10アール	10~14日間隔
収量アップ	500~800 mL/10アール	10~14日間隔
暑さ・寒さ・乾燥	500~1500 mL/10アール	10~14日間隔

液体資材



灌注、スプレー散布などの散布方法に関わらず、施用面積10アールに対して水量500L、本製品500mLでご使用の場合、希釈倍率は1,000倍となります。

荷姿： □9.5L □1L

# GROWING BEYOND

## CaSi

主な栄養素の含有%

N	P	K	Ca
-	-	-	10

### リドックス製品の特徴

リドックスのほとんどの製品にはアミノ酸・フミン酸・フルボ酸などの成分を含有しています。これらの成分は植物栄養素となる成分をキレーション・コンプレクシングといった特殊な化学反応を用いて保護しています。そのため、資材混合後のタンク内や施用後の土壤内で、植物栄養素となる成分同士が不必要な結合を行い、植物が利用できない形になってしまうことを回避することができます。また、カルシウム含有の液体資材などにはマイクロカプセル技術が使用されており、マイクロカプセル化されたカルシウムは他の成分との不必要な結合が回避されるだけでなく、マイクロカプセルに使用されている界面活性剤により、葉面での残効性と土壤中での浸透性を向上します。これらの技術が適用されているリドックス製品は、植物栄養素の化学結合による難溶化を回避します。そのため、一般的な農業資材よりも施用量に対する吸収効率が80%以上と高く、少ない施用量でも高い効力を発揮します。リドックス製品は植物栄養素の保護によって従来では無駄に発生していた難溶化成分を極端に減らすことから、持続可能な“サステナブル資材”として期待されています。



Redox技術による成分保護のイラスト

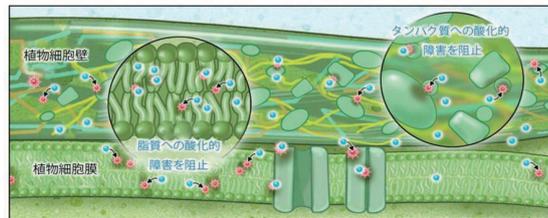
### 酸化ストレス対策

酸化ストレスとは？

植物は常に気候・土壤環境・栄養バランスなどの環境的なストレスに晒されています。環境ストレスが増大すると、植物体内では活性酸素やフリーラジカルといった物質が徐々に蓄積していき、これらは植物体内の細胞を傷つけていきます。このように活性酸素などによる植物体内の細胞への損傷を酸化ストレスといいます。この酸化ストレスが起因となり、病気や軟弱化によって生育や収量に大きな損害を与えることになります。

酸化ストレス対策 (リドックスCaSi)

リドックスCaSiはカルシウムとケイ素によって植物体内の細胞壁を強化します。強い細胞壁は活性酸素などから細胞への攻撃を軽減し、酸化ストレスから植物を守ります。



抗酸化物質が活性酸素を消去し酸化ストレスを軽減!

